

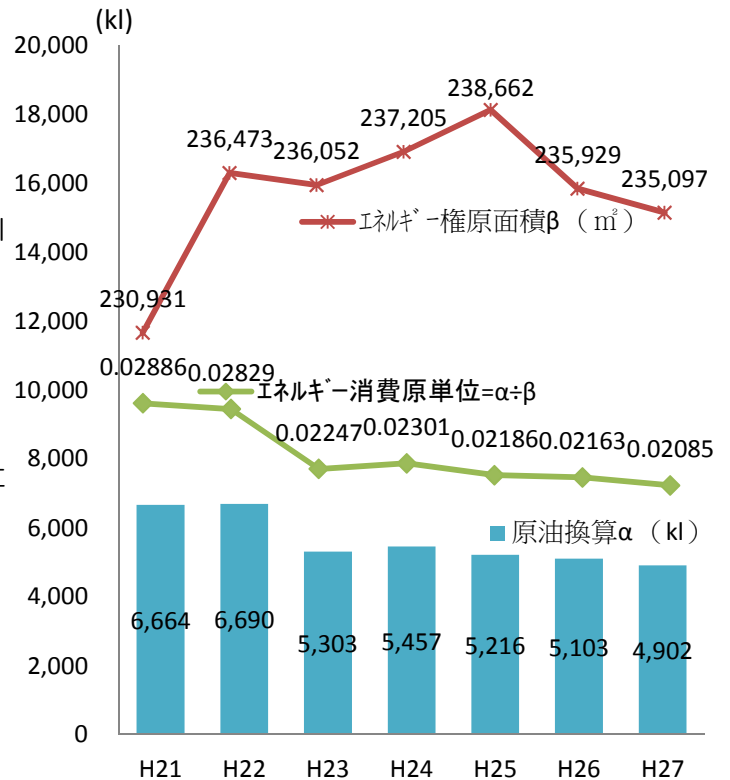
■ 環境パフォーマンスデータ

当社全体の消費エネルギー

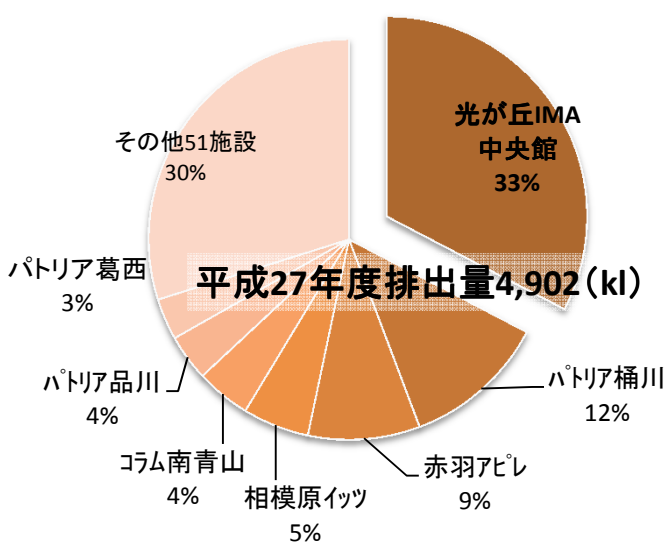
当社では、「施設のエネルギー消費を原単位で毎年前年比▲1%以上削減する」という、省エネルギー法に基づいた目標を設定しています。

平成27年度は、商業施設として無理のない照明の間引きや空調温度設定等の運用上での省エネをお客様のご理解をいただきながら実行する中、照明設備のLED化や空調設備の更新等を積極的に行い、総合的な省エネルギー化に努めて参りました。

これらの結果、右表のとおり平成27年度における当社全体（※）でのエネルギー消費量の合計は、原油換算で4,902kl、前年と比較して▲4% 201klの削減を達成することができ、エネルギー消費原単位（緑の折れ線グラフ）では、▲3.8%の削減となりました。



改正省エネルギー法施行後における7年間の当社エネルギー消費量(kl)及び単位面積当たりのエネルギー消費量割合



省エネルギー法によるエネルギー権原を有する58施設のエネルギー消費割合

当社施設で最もエネルギー消費量（原油換算）の多い施設は「光が丘IMA中央館」（東京都練馬区）であり、当社全体（※）の33%を占めています。

「光が丘IMA中央館」は、省エネルギー法上の「エネルギー管理指定工場」、東京都環境確保条例上の「特定温暖化対策事業所」に指定されており、当社の目標達成において、最も重要な事業所として位置付けています。

次いで「パトリア桶川」（埼玉県桶川市）は、埼玉県地球温暖化対策推進条例上の「特定温暖化対策事業所（C）」の取扱いとなっており、2番目にエネルギー消費量が多い施設です。

（※）省エネルギー法によるエネルギー権原を有する範囲。

「光が丘 I MA中央館」の消費エネルギー

当社全体のエネルギー消費の33%を占める「光が丘 I MA中央館」の平成27年度のエネルギー消費量は、原油換算1,601klで、前年比▲103kl (▲6%) となりました。

機器更新により空調に係るエネルギー消費量を削減できたことが前年より削減できた大きな要因となっております。

◆エネルギー使用量及びエネルギー消費原単位の変化状況

項目		H22	H23	H24	H25	H26	H27
①	燃料及び熱の使用量 (GJ)	26,757	18,091	19,485	17,588	17,172	13,128
②	電気の使用量 (GJ)	66,001	47,825	49,330	48,448	48,893	48,942
③	合計 ③=①+② (GJ)	92,758	65,916	68,815	66,036	66,065	62,070
④	合計③を原油換算 (kl)	2,393	1,701	1,775	1,704	1,704	1,601
⑤	エネルギー権原対象面積 (㎡)	77,943	77,943	77,943	77,943	78,088	78,088
⑥	エネルギー消費原単位=④÷⑤	0.03070	0.02182	0.02277	0.02186	0.02182	0.02051
	前年度比 (%)	102.5%	71.1%	104.3%	96.0%	99.8%	94.0%



◆H27のエネルギー使用量(GJ換算)

・使用量(GJ)内訳

項目	H26	H27	傾向
A重油(GJ)	0	0	→ -
温水(GJ)	3,218	2,736	↘ 85%
冷水(GJ)	13,954	10,392	↘ 74%
熱合計(GJ)	17,172	13,128	↘ 76%
電気(GJ)	48,893	48,942	↗ 100%

・熱の使用量は冷水・温水共に大幅削減。

⇒設備更新等により効率的な熱供給を行うことができた結果。

・電気の使用量はほぼ横ばいで推移。

